

< あなたの治療について >







血内 - DLd (7c 以降) - MM - q4w

今回の治療は、DLd という治療法で、ダラザレックス (DZX) という注射薬とレブラミド (LEN) とレナデックス (DEX) という内服薬を併用して行います。ダラザレックス、レブラミドは、共に腫瘍の増殖を抑えるお薬です。レナデックスは副腎皮質ステロイドですが抗腫瘍効果があり、また、前記の薬と併用して治療を手助けする大事な役目をはたしています。3つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。




◎ 治療全体の流れ

今回の化学療法は4週間が1コースとなっています。各コースの1日目に点滴を行います。また、レブラミドを1～21日目、レナデックスを2、8、15、22日目に服用します。この治療を4週間(28日間)ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

◎ 1コース分の治療スケジュール

	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2日目	3～7日目	8日目	9～14日目	
①	レブラミドカプセル (抗がん剤)	内服						
②	レナデックス錠 (ステロイド)	内服	お休み		お休み		お休み	
	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2～14日目				
①	レスタミン錠 (アレルギーを抑える薬)	内服		お休み				
②	アセリオ デキサート (アレルギーを抑える薬・吐き気止め)	点滴 約15分						
	45分以上、間隔をあけます							
③	ダラザレックス (抗がん剤)	点滴 約100ml/時						

◎ 1コース分の治療スケジュール

	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	15日目	16~21日目	22日目	23~28日目
②	レブラミドカプセル (抗がん剤)	内服				お休み
②	レナデックス錠 (ステロイド)	内服		お休み		お休み
			15~28日目			
①	レスタミン錠 (アレルギーを抑える薬)	内服	お休み			
②	アセリオ デキサート (アレルギーを抑える薬・吐き気止め)	点滴 約15分				
	45分以上、間隔をあけます					
③	ダラザレックス (抗がん剤)	点滴 約100ml/時				

★ 点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなつてはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出て下さい。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

◎起りやすい副作用について (頻度 20%以上)

ダラザレックス、レブラミドカプセル、レナデックスによる

- インフュージョンリアクション

◎特徴的な副作用について

レブラミドカプセルにおける

- 疲労、めまい、傾眠、霧視

自動車の運転等危険を伴う機械の操作は行わないように注意すること

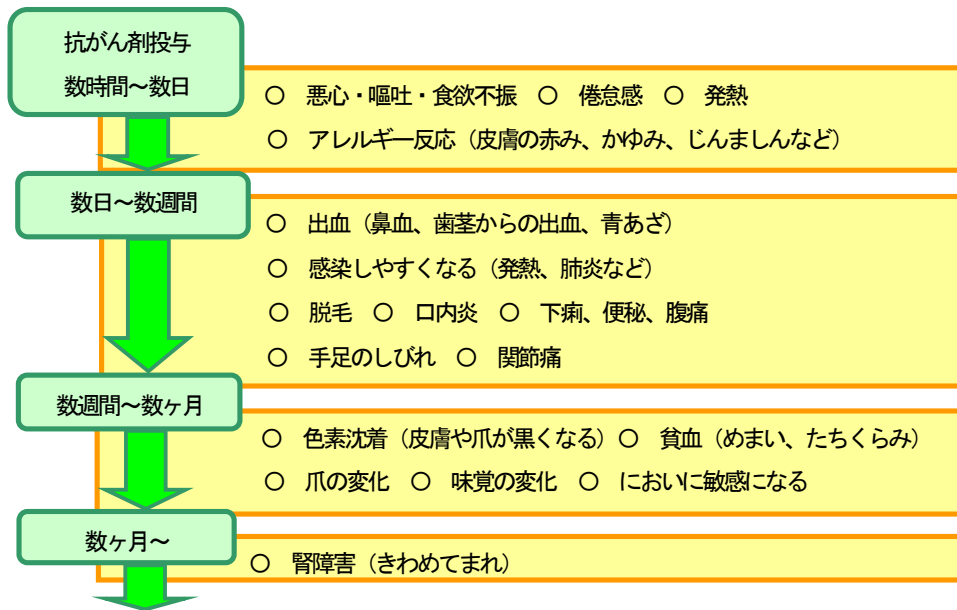
\* 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

## ◎副作用の発現時期の目安

\*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗がん剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



## ◎副作用の対策について

★吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

## ◎薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）

まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

### 【ダラザレックス】

〈Infusion reaction〉 アナフィラキシー、鼻閉、咳、寒気、息切れ・息苦しい、吐き気、発熱、かゆみ、めまい

〈骨髄抑制〉 発熱、血便・血尿、あざ、出血しやすい

〈感染症〉 発熱、寒気、発汗、せき・のどの痛み、下痢、からだの痛み

〈腫瘍崩壊症候群〉 尿が少なくなる・血尿、意識がうすれる、けいれん

### 【レブラミドカプセル】

〈骨髄抑制〉 全身倦怠感、発熱、鼻血、歯ぐきの出血、皮下出血、腹痛、黒色便、息切れ

〈深部静脈血栓症、肺塞栓症〉 急激な手足の腫れ・痛み・しびれ・発赤、呼吸困難、胸痛

〈脳梗塞、一過性脳虚血発作〉 しびれ、頭痛、片麻痺、意識障害、言語障害

〈皮膚粘膜眼症候群、中毒性表皮壊死症〉 発熱、眼出血、紅斑・水疱

〈間質性肺疾患〉 発熱、から咳、呼吸困難

◎ 上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。